

経済指標ウォッチャー

米ISM景況感指数2月 製造業・非製造業で景況感の二極化が続く

個人消費はモノからサービスへ移行が進む

ISM景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）が製造業・非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国企業の景況感を示す指標のひとつ。製造業が毎月第1営業日、非製造業が毎月第3営業日に公表される。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

非製造業の景況感が高水準を維持

全米供給管理協会(ISM)が1日に発表した、2月の製造業景況感指数は47.7（市場予想：48.0）と前月から小幅に上昇しました。しかし、好不況の節目となる50を4ヵ月連続で下回り、2020年5月以来の低水準が続いています。一方、3日発表の2月の非製造業景況感指数は55.1（市場予想：54.5）と、前月から小幅に低下しました(図表1)。インフレの高止まりや景気後退懸念から、新規受注の低迷が続いており、製造業の景況感は依然として縮小圏にとどまっています。一方、賃金上昇を背景に、個人消費がモノから旅行・宿泊などのサービスへと移行しており、非製造業の景況感は総じて良好な水準で推移しています。

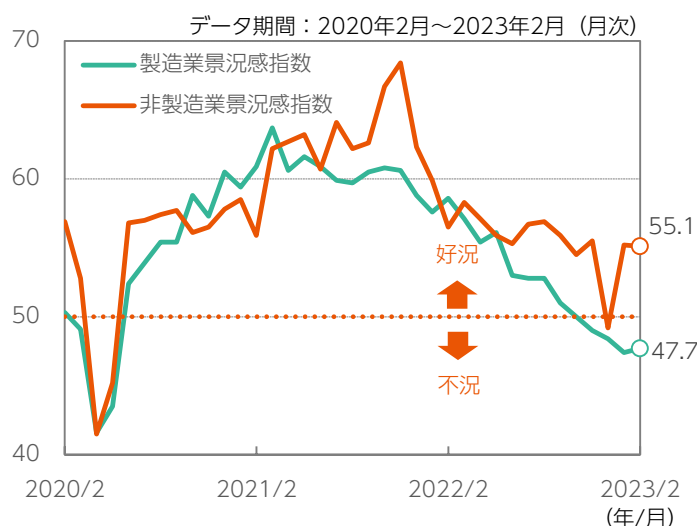
製造業では18業種中、コンピューター・電子機器、家具などの14業種が業況の悪化を報告し、非製造業では18業種中、建設業や小売業などの13業種が業況の拡大を報告しています。

供給網の混乱解消による価格の低下は一服か

景況感指数を構成する指数のうち、製造業の『価格指数』は51.3と前月の44.5から大幅に上昇しました。サプライチェーン（供給網）混乱の解消にともなう価格の低下が一服し、今後は上昇する可能性があります。なお、人手不足による賃金上昇などを背景に、非製造業の価格指数は引き続き高水準で推移しています（図表2）。

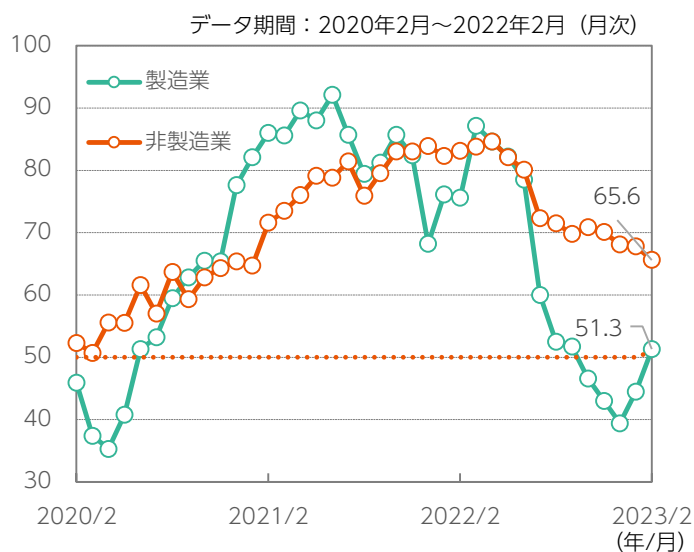
インフレの高止まりを背景に、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げが長期化するとの見方が強まっています。コロナ禍からの回復にともなう急速な消費が一巡し、目先は金融引き締め長期化による景気後退が意識されるなか、今後は、企業の慎重姿勢が強まることが予想されます。

図表1：製造業の景況感指数は50を下回る



※ISM製造業・非製造業景況感指数の推移

図表2：製造業の価格指数が急上昇



※ISM製造業・非製造業景況感指数の構成指数（価格指数）の推移

出所）図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>